

【令和7年度日立地区安全衛生大会を開催しました】

9月5日、日立シビックセンター音楽ホールにおいて、令和7年度日立地区安全衛生大会が開催され、会員事業所の役員様、ご担当者様をはじめ、関係者を含め150名余の参加を頂きました。当日は台風の影響で昼前から大雨になり、大みか駅前では突風による被害が発生し、参加者の激減が心配されましたが、多数の参加をいただき、皆様の安全衛生活動への熱意に敬意を表しますとともに、ご協力に感謝申し上げます。大会終了時には天気も回復しました。

黙 禱 はじめに、労働災害により亡くなられた方々に 哀悼の意を表するため、参加者全員で黙禱をささげました。

(一社)日立労働基準協会長表彰式

安全衛生活動に積極的に取り組まれた2事業場に優良事業場賞を、また安全衛生講習で長年ご講義をいただいている講師2名に功績賞が授与されそれぞれに表彰状と記念品が贈呈されました。誠にありがとうございました。

(一社)日立労働基準協会 風間会長挨拶

- ・ お忙しい中、天候の悪い中、ご出席いただきましてお礼申し上げます。
- ・ 本日、安全衛生優良事業場賞と功績賞のお二人には改めてお祝い申し上げます。引き続きご活躍と日立地区での安全で健康な職場づくりにご支援の程よろしく申し上げます。
- ・ 全国労働衛生週間、9月の準備月間、10月1日から7日の本週間として展開されます。働く人々の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する意識を高め、職場での自主的な活動を促すことで健康を確保する、こういう目的に取り組んでいるものです。予定の各種説明、ご講演などを参加者皆様の職場の活動に展開いただき、安全で健康な職場づくりに役立てていただけたら幸いです。長丁場ですがよろしく申し上げます。



日立労働基準監督署 大久保署長挨拶

- ・ 日頃から、業務運営に、格別のご理解ご協力をいただいております。御礼申し上げます。
- ・ 表彰受けられた皆様、おめでとうございます。日頃の安全活動が評価され、会社、職場の代表として表彰の推薦を受けられたものと思います。引き続き、職場地域の代表となり安全衛生活動の推進をお願いします。
- ・ 全国労働衛生週間76回目となります。
- ・ 化学物質、アスベストによる健康障害防止、メンタルヘルス対策の推進、転倒・腰痛予防対策、高齢労働者の健康づくりなどについても安全衛生活動の範囲を広げていただくとともに、本週間を契機に労働衛生に関する意識が高められるよう、職場巡視や、スローガン掲示、講習会セミナーの開催など様々な取り組みをお願いします。
- ・ 労働災害の防止も併せてお願いします。災害発生状況は7月末 81件(R6.79)と減少から増加に転じています。死亡災害もすでに1件発生(R6.は年会1件発生)しており、2件目の発生を防止願います。
- ・ メンタル不調、精神疾患による労災請求、相談事案増加傾向。企業構造、県民性などいろいろな背景があるかと思われます。労働衛生週間ストレスチェックの実施と結果の活用、パワハラセクハラ相談体制の充実など、より働きやすい職場の実現に向け、様々な労働者の健康確保対策の検討、見直しなどをお願いします。



日立労働基準監督署 大場第三方面主任監督官説明

- ・ 「労働衛生週間(9月準備期間及び10月1~7日までの本週間の実施事項(*実施要綱)及び労働災害の発生状況等)」について、ご説明いただきました。

(*)実施事項詳細は、本トップページにもどり、右上の労働衛生週間の実施事項をご参照ください。

- ・ 業務災害の過労死等事案は、労災認定件数 1,296件と増加している。精神不調が原因による精神障害認定件数 1,055件と過去最多となっている。主な業種では、医療・福祉、中では社会福祉施設が多くなっている。
- ・ 法改正では、熱中症による死亡災害の発生が続いている中、発症の恐れのある場合に、飲み物や測定器具などの整備と作業員等に周知しておくことで死亡災害まで行く前に予防する対策を行うこととなった。
- ・ その他に、化学物質による健康障害防止対策について、危険性・有害性があると区分されたすべての化学物質を対象にリスクアセスメントを実施し、その結果で暴露防止措置を講じる制度(自律的管理)が施行されている。化学物質管理者の選任、また安全データシート SDS によるリスクアセスメント結果では、保護具着用管理責任者の選任が必要となる。
- ・ 50人未満の事業場もストレスチェックの実施をすることとなった。(R7.5月公布、3年以内で期日未定)
- ・ 治療と仕事の両立支援の必要な措置が(R7.6月交付)事業主の努力義務とされた。



茨城産業保健総合支援センター 産業保健専門職 田山渚氏

「さんぽセンターの事業概要及び治療と仕事の両立支援」についての説明がありました。

(下線の内容は、トップページ・大会開催しましたの隣をクリックしてご参照ください。)

47都道府県に、産業保健総合支援センター「さんぽセンター」

県内各地域に、地域産業保健センター「地さんぽ」

社員の健康管理治療と仕事の両立のこと等、無料相談等の活用を！



講演「熱中症からカラダをまもろう」

講師 大塚製薬(株)水戸出張所 竹下浩一氏

熱中症の発症メカニズム、症状、重症度区分(人間の体温の限界は42度)、原因などの基礎知識と、
熱中症になってしまったら…冷やす(深部体温の冷却)

暑さ指数(WBGT):熱中症予防のための指標 31度以上(危険)、28~31度(嚴重警戒)...

熱中症警戒アラート(健康に被害のおそれあり搬送者大量発生...暑さ指数33)

熱中症特別警戒アラート(過去にない暑さ、...同35)

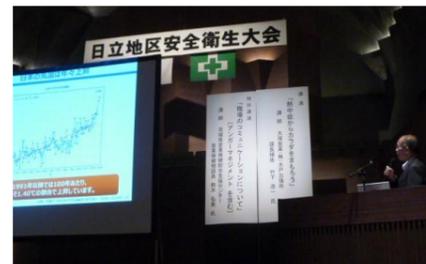
指数上昇の環境 [気温高い、風が弱い、日差しが強い、湿度が高い、暑いものがそばにある、照り返しが強い]

職場における熱中症予防のポイント

- ・作業環境の管理(屋根、冷房設備、ミストシャワーなどの設置など)
- ・旧家場所の整備(氷、冷水、シャワーなど体を冷やす設備など)
- ・服装(透湿性・通気性の良いもの、冷却するものなど)
- ・健康管理、作業時間の短縮、暑熱順化(暑さに体が適応した状態)、水分・塩分の摂取など

<健康づくり...バランスよく食事を摂る(朝食からしっかり)、適度な運動、しっかり睡眠>

プラス... のどの渇きを覚える前に、必要な水分、電解質(イオン)をこまめに補給しましょう!



特別講演「職場のコミュニケーションについて」(アンガーマネジメントも含む)

講師 茨城産業保健総合支援センター 産業保健相談員 鈴木弘子氏

(概要)

そもそもコミュニケーションはずれる、言わなくてもわかってもらえるは間違い

↓ 同じ単語でも、別の意味に捉えられる、思考が短絡的、語彙が少ない

コミュニケーションは、訂正、追加、取消しの、往復を重ねて、色合いを合わせる

どんなコミュニケーションだとわかりやすいのか

(だからだめだ、でなく、どうしたら伝わるかの視点で)

声(トーン)は抑揚を少なめに

箇条書きに近い短い文章(要点はこれ!)

要点メモを渡して説明(メモ取りながら聞くのは苦手)

できないのは「足りない」からと考えて、抜けやもれなく伝える

~なぜ怒るのだろうか~

我慢を求められる~まわりと対立~身勝手だと思われる、嫌われる~わかってもらえない悲しさ、思いが伝わらない寂しさ

→逃げるか、闘うしかない...怒り

→どう考えたか...興奮:反応

怒りが増す
怒りが静まる

↓

- ・ 身体を緩める、その場で(長息、斬新的筋弛緩法)、下記(*)方法など
- ・ 自分にかかる言葉、自分の応援団になろう!
わざとじゃないかも、怒るほどじゃないかな、まあいいか、なんとかなるよ、自分なりにできた、別にいいや、
- ・ 出来事はコントロールできないが、「考え方はコントロールできる」
(*) 水を飲む、一度、考えるのをやめる、逆転の発想を試みる、どこかへ出かける、うれしい言葉を思い浮かべる、音楽をきく...

事業場での展開

同じ研修をみんなで聞く意味

研修内容について、みんなで(グループで)話し合うこと

使える資源(研修)

茨城産業保健総合支援センター ラインケア、セルフケア研修 (https://ibarakis.lohas.go.jp/mental-2#index_id2)

キャリア形成理スキリング支援センター 研修+個別面談 (<https://carigaku.mhlw.go.jp>)

今のハラスメントについて学ぶこと (あかるい職場の応援団 <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp>)

大会宣言(令和7年9月5日.要旨)

労働衛生週間のスローガン、「ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場」により、労働衛生意識の高揚を図り、令和5年度からの5年間で労働災害の減少等を目指す「第14次労働災害防止計画」の目標達成に向けて、経営トップのリーダーシップのもとで、関係者全員が一丸となって、安全で健康に生き生きと働くことが出来る職場づくりを目指し、引き続き安全衛生活動に全力で取り組むことを宣言する。

